

令和2年度東京都小学校社会科研究会の研究

東京都小学校社会科研究会・研究発表会

令和2年度研究主題

社会とつながり未来を創る子供の育成

～社会的事象の見方・考え方を働かせ、
主体的に問いを追究する学習を通して～

調査研究部会 2月作成

社会科学習で育てたい子供とは？

知識・技能

思考力・判断力・表現力



社会をよく見て、
様子や仕組みが
分かる子

問い
を
もち

くらべたりつなげ
たりして特色や
意味を考える子



社会の出来事を自分とつなげ、
よりよい社会づくりに
関わっていこうとする子

学びに向かう力・人間性



社会科学習で育てたい子供とは？

- ◆ 社会をよく見て、様子や仕組みが分かる子
- ◆ くらべたりつなげたりして特色や意味を考える子
- ◆ 問いをもち社会の出来事を自分とつなげ、
よりよい社会づくりに関わっていかようとする子



子供



分かる・考える



つながる



問い・関わり



社会

未来
発展

社会科学習で育てたい子供とは？

- ◆社会をよく見て、様子や仕組みが分かる子
- ◆くらべたりつなげたりして特色や意味を考える子
- ◆問いをもち社会の出来事を自分とつなげ、
よりよい社会づくりに関わっていかようとする子



希望
責任



子供

未来を創る

分かる・考える



つながる

問い・関わり



未来
発展



社会

令和2年度東京都小学校社会科研究会の研究

どのような学びのプロセスで育成するのか？

社会とつながり未来を創る子供

主体的な問題解決

現実社会を学習
対象とする段階

いかす

まとめる

調べる

つかむ

切り取られた
社会を学習対象
とする段階

【内容の取扱い】

- ◆自分たちにできることを考えたり選択・判断したりできるように配慮すること
- ◆多角的に考えて、これからの発展について、自分の考えをまとめることができるように配慮すること

社会事象との出会い

教材の開発・分析

令和2年度東京都小学校社会科研究会の研究

研究主題

社会とつながり未来を創る子供の育成

社会的事象の見方・考え方を働かせ、
主体的に問いを追究する学習をつくる研究の重点は？

教材開発・教材分析

- 見方・考え方を働かせる教材
- 関わり方を考える教材
- 人の働きを共感的に捉えられる教材
- 東京らしい教材



令和2年度東京都小学校社会科研究会の研究

研究主題

社会とつながり未来を創る子供の育成

社会的事象の見方・考え方を働かせ、
主体的に問いを追究する学習をつくる研究の重点は？

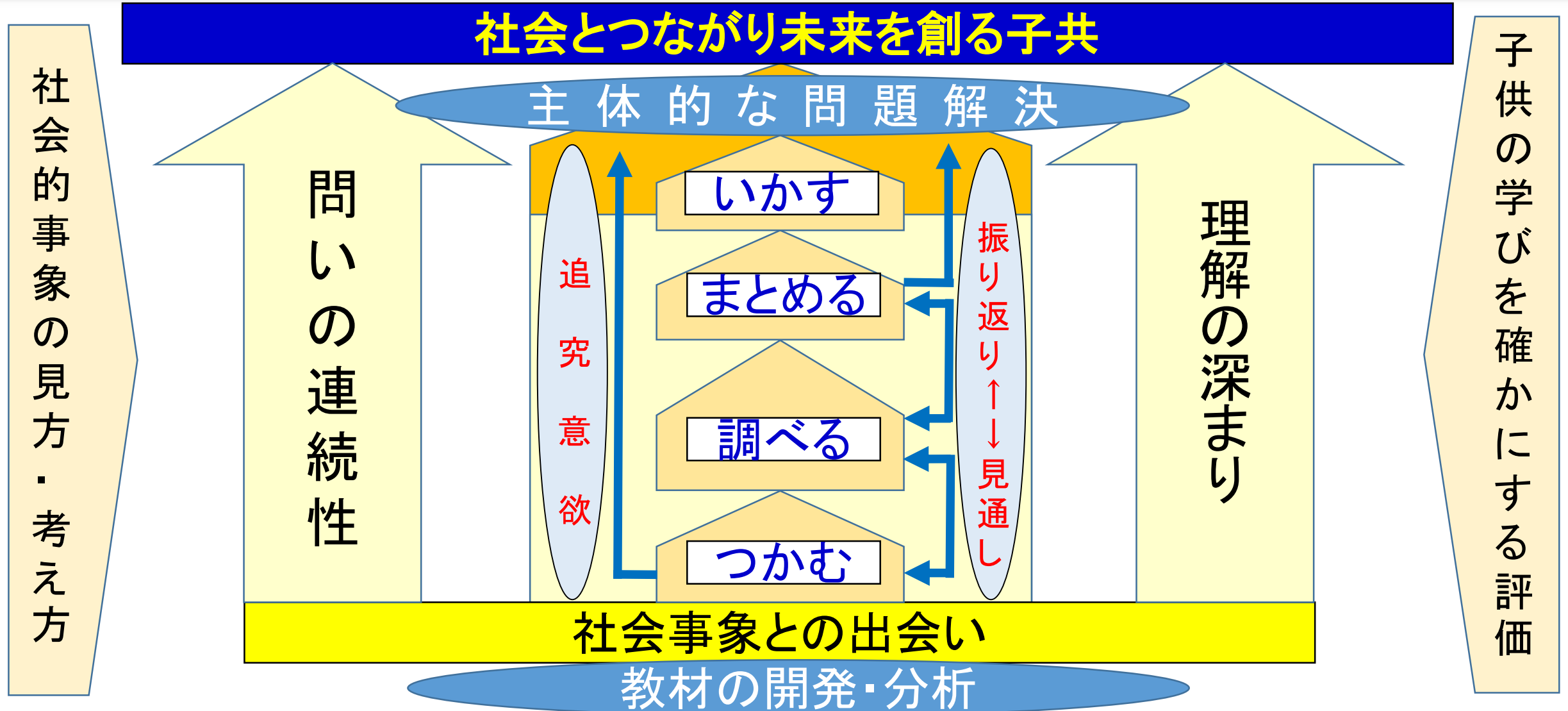
研究の重点内容

- ① 主体的に追究する問いの工夫
- ② 見方・考え方を働かせる学習活動の工夫
- ③ 子供の学びを確かにする評価の工夫



令和2年度東京都小学校社会科研究会の研究

どのような学びのプロセスで育成するのか？



令和2年度 東京都小学校社会科教育研究会 3年部会



**【実践事例1】
火事からくらしを守る**



**【実践事例2】
わたしたちのくらしと
警察の仕事**

令和2年3年部会の研究

研究主題

社会とつながり未来を創る子供の育成

目指す子供像

自分たちの暮らす地域への理解をもとに、地域社会のこれからを考えようとする子供

主体的に追究する問いの工夫

- ・子供の問題意識を高める問いの設定
- ・疑問から問いを導く発問や教材提示

- ・緊急時に対処する体制に重点をおいた学習問題
- ・消防単元の学習を生かした警察単元の設定
- ・既習事項(消防単元)を生かした学習問題の設定。

見方・考え方を働かせる学習活動の工夫

3年部会の 研究の重点

- ・対話的に学習を進めるための学習活動
- ・見通しをもって学習を進める
単元展開

3年部会の 研究の手立て

- ・対話を通して関連図を作成する活動
- ・驚きから生まれる地域の一員として自分の関りを選択判断する活動
- ・安全を守る取組を多面的に捉えるために、身近な地域の人たちと関わる活動の設定。

子供の学びを確かにする評価の工夫

- ・見通しと振り返りに基づく指導と評価の一体化
- ・子供の理解や思考を表出させる表現方法

- ・消防、警察の両方の小単元で「いかす」を設定し、安全単元の目標の達成を目指す
- ・学んできたことを関連図にまとめ、それを次の小単元にもつなげる。
- ・毎時間、「振り返り」の時間をとる。

令和2年3年部会の研究

研究主題

社会とつながり未来を創る子供の育成

目指す子供像

自分たちの暮らす地域への理解をもとに、地域社会のこれからを考えようとする子供

見方・考え方を働かせる
学習活動の工夫

対話的に学習を進めるための
学習活動

今年度の重点

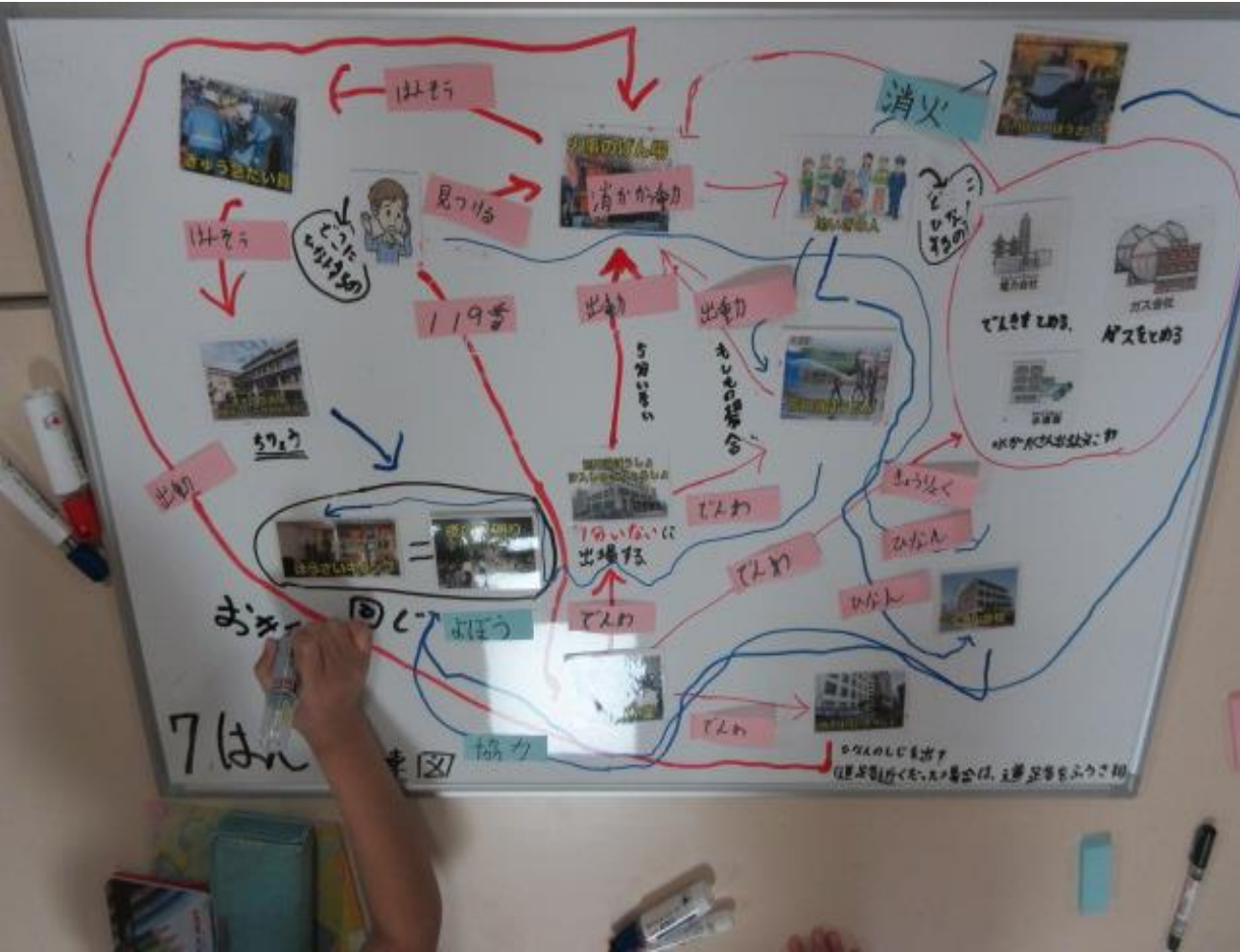
子供の学びを確かにする
評価の工夫

子供の理解や思考を表出させる
表現方法

学習してきたことを対話を通して関連図にまとめる
小単元でまとめた関連図を、比較・関連・総合して、
安全単元を捉えられるようにする

【実践事例1】

火事からくらしを守る



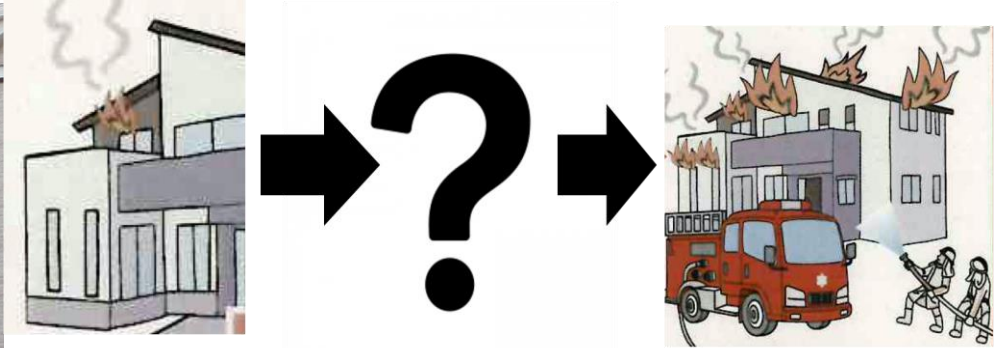
【実践事例2】

わたしたちのくらしと警察の仕事



【実践事例1】 火事からくらしを守る

(1) 主体的に追究する問いの工夫



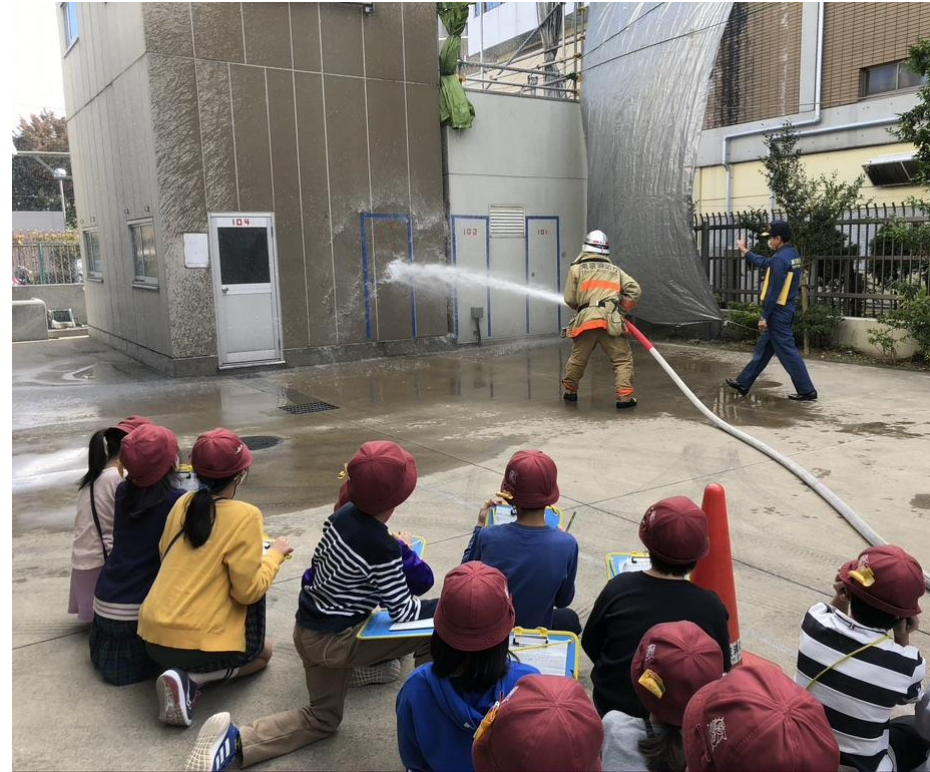
どうやって消防士や
消防車が来たのかな。



【学習問題】 火事から人々のくらしを守るために、
だれが何をしているのかな。

(2) 見方・考え方を働かせる学習活動の工夫

見学を通して、火事が起きた時の**人の働きに着目**させる。



素早く消火活動をするために、
消防士以外の人も何かしているのかな。



(2) 見方・考え方を働かせる学習活動の工夫 関連図にまとめてみると**新しい気づき**が生まれる。

総合指令室が
消防署や警察などに
素早く連絡をしているね。

たくさんの人たちが
火事の際に**協力**しているね。

大きな火事が起きると、
他の区からも
消防車を出してもらうんだね。




(3) 子供の学びを確かにする評価の工夫

総合指令室を中心にたくさんの人が素早く協力していることが読み取れる。

地域の人々が火事を予防していることが読み取れる。

本実践の成果

これまで調べてきたことを、子供同士が**対話しながら関連図をつくる**ことで、関係諸機関の指令系統や連携、協力がよく理解できた。

A group of children are gathered around a table, looking at a large diagram drawn on a whiteboard. The diagram shows a network of red lines connecting various icons, representing a command system or cooperation network. One child in a red shirt is pointing at the diagram, while others are looking on with interest. The setting appears to be a classroom or a workshop.

火事が起きたら、
総合指令室を中心に
素早く行動しているね。

火事を起こさないために
たくさんの方が協力して
いるんだね。

【実践事例2】 わたしたちのくらしと警察の仕事

(1) 主体的に追究する問いの工夫

<p>① 絵地図から気づいたことを話し合い、事故発生から警察が来るまでの流れを調べる。</p>	<p>② 目黒区の子から備えの学習問題</p>	<p>③ 目黒警察の故防止の取調べる。</p>	<p>④ 地域の人の止の取り組める。</p>	<p>⑤ 区役所の取り組み</p>	<p>⑥ 調べてきた関連図にま</p>	<p>⑦ 地域の人から安全のために自分ができを考える。</p>
---	-------------------------	-------------------------	------------------------	-------------------	---------------------	---------------------------------

第1時の「つかむ」の段階で事故への「対処」を予め学習することで、児童の思考が事故への「備え」に向くようにした。

【学習問題】 身の回りの事こをへらすためにけいさつとだれがどのようなくふうをしてまちの安全を守っているのか

(2) 見方・考え方を働かせる学習活動の工夫
ゲストティーチャーの話から、事故から町の人々を守る
人たちの行動に着目させる。



警察官



地域の人(PTA)



区役所

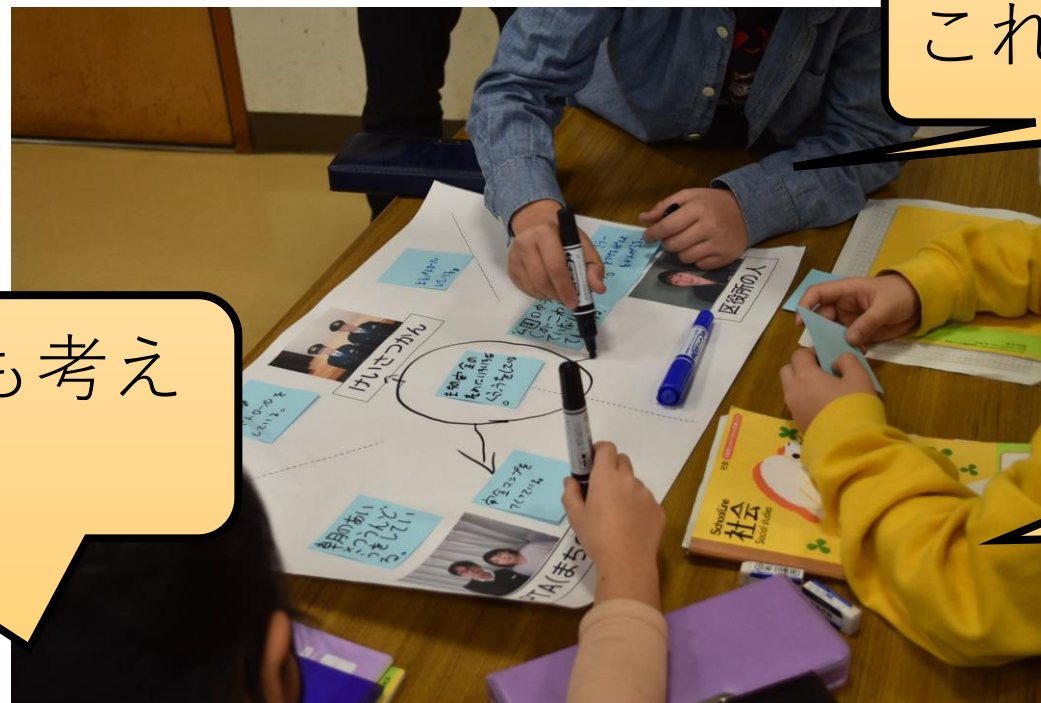
安全はだれが
守っているの
だろう。



警察官・地域の人(PTA)・区役所の方々が実際に来て話を
していただくことで、様々な立場の人がまちの安全を守ってい
ることを感じ取ることができた。

(2) 見方・考え方を働かせる学習活動の工夫

話し合いをして互いの意見を取り入れながら関連図に
調べたことを書き加える。



これは区役所のことだね。

けいさつのことでも考えよう。

どうしようかな。

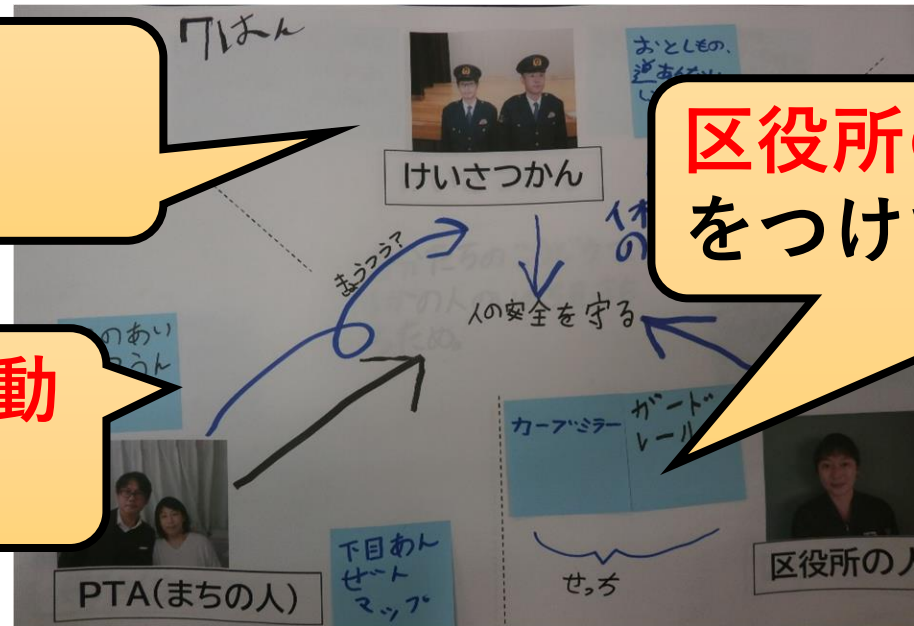
少ない人数で1枚の大きな紙に関連図をかくことで互いに意見を出し合いながらまとめることができた。

(3) 子供の学びを確かにする評価の工夫
書き加えたことから**人々のつながり**を考える。

警察の人は、パトロール
をしているね。

PTAの人は、あいさつ運動
をしているね。

区役所の人はガードレール
をつけているね。

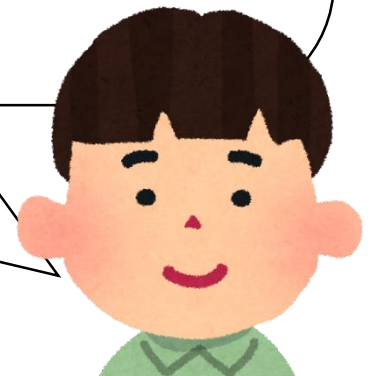


「調べる」で学習したことを1枚の関連図にした。書く場所を区切って図にすることで視覚的に多くの人々がまちの安全を守ることに関わっていることやそのつながりを理解することができた。

(3) 子供の学びを確かにする評価の工夫 児童の学習問題に対しての自分の考え

身の回りの事故をへらすために、けいさつとPTAや区役所の人たちは、毎日くんれんをしたり、あいさつ運動をしたり、カーブミラーなどをせっちしたり、たくさんのことをしてまちや人や命を守るための活動をしていた。

何を守るのかが具体的に考えられていることが分かる。



本実践の成果

ゲストティーチャーから直接、話を聞くことでまちの安全を守る多くの人々の活動を関連図にまとめることで、**安全を守る人たちの思いやつながり**を理解することができた。

カーブミラーは警察の人と区役所の人が**話し合っ**つけているね。



2つの実践の課題



- **3年生に分かりやすい関連図**とは何か。
- 関連図を読み取らせるための**教師の発問や指導法の改善**の必要性

